

聾学校の皆さんとの交流学习が、今年は栃木県立聾学校を訪問する形で行われました。近年は3か年通しての交流ができるとの理由で、本校では社会研究部が担当しています。



はじめの会では、1年ぶりに再会した親しみや、初めて会う緊張感が入り混じっていました。お互いに自己紹介をした後、校内案内をしてもらいました。

校内案内では、聾学校の皆さん自慢の三角屋根の体育館や、新しくなった施設、特別な学習室などを案内してくれました。「わあ、綺麗。」「最新機器だね。」などの声が上がっていました。



戻ってからのジェスチャーゲームでは、「花」「そうじ」「おにぎり」などの言葉を、身振り手振りや手話で伝えあい、当たっても外れても笑顔の楽しい時間を過ごしました。



筆談をつかったの懇談の時間は、好きなアニメやゲーム、アーティストなどの質問から、共通の趣味なども見付きり盛り上がっていました。「去年も会ったよね。」「覚えてる。」などの会話もあり、和やかな時間になりました。

社会研究部の生徒は、自己紹介の手話を覚え、中島みゆきさんの「糸」に手話つけた手話歌を披露するなど、心のこもった交流を続けています。伝え合う方法を探りながら、お互いを理解しあい、ともに

活動することの学びは、社会研究部の生徒にとっても大変有意義なものになったことでしょう。

